

事務事業名	図書館管理運営事業			事業コード	10051200101
所管部署	丸岡図書館	電話	67-1500	記入者名	斉藤由喜子
事業対象	坂井市民全般、および市内通勤者、通学者				
総合計画	基本構想	生涯を通じて学び・育つまちづくり		事業区分	自治事務（任意的なもの）
	基本計画	社会教育・生涯教育の充実		事業種別	ソフト事業
実施主体	市	実施手段	市が直接実施	委託内容	
根拠法令	有	図書館法			
根拠例規	有	坂井市立図書館条例、坂井市立図書館条例施行規則			
関連計画・マニュアル	有	坂井市教育振興基本計画、坂井市子どもの読書活動推進計画			
事業の概要	地域社会の情報拠点として、幼児から学生、高齢者までの幅広い利用者の生涯学習の推進を図る。				
	<p>【事業内容】</p> <p>○図書館資料の収集、整備、貸出、情報提供 各館市民のニーズに添った資料の収集、レファレンスに努めた。</p> <p>○子ども読書活動推進 市内図書館共通の事業としては、乳児への読み聞かせの大切さを伝えるブックスタート、毎週土曜日の定例おはなし会や、小学生を対象とした図書館見学ツアー、図書館おすすめの本を入れた福袋の貸出、越前織の認定書がもらえる「めざせ！どくしよめいじん」などを実施している。また、年間を通して工作教室や、季節のスペシャルおはなし会など、各館数多くのイベントを開催している。また、小学校の各クラスへの団体貸出しもを行い、読書の普及に努めている。 中学校に併設の坂井図書館は、学校司書と日常的な連携を図り、中学生の要望に応えた団体貸出を行った。また、お互いの「図書館だより」を掲示しあい、読書普及に努めた。中学生の作品も掲示するなどして、地域の人々も楽しめる図書館づくりに努めた。</p> <p>○一般利用者への読書普及 大人の方にもより読書に親んでもらうために、落語会など気軽に参加できる講演会や、古雑誌市の開催などを企画した。</p> <p>○施設の維持管理 丸岡図書館の外壁改修工事、駐車場舗装工事、立形ブラインド修繕、三国図書館の床張替修繕、春江図書館の椅子クリーニング、絵本の部屋仕切り修繕、中野重治生家跡雨樋修繕等を行い、快適な施設の整備に努めた。</p>				

予算	款	教育費	項	社会教育費	目	図書館費							
事業の概要	コスト	事業費	平成27年度		平成26年度		平成25年度		平成24年度				
			報酬	90	千円	90	千円	千円	千円				
			委託費	9,507	千円	9,567	千円	千円	千円				
			需用費	13,857	千円	14,748	千円	千円	千円				
			役務費	1,227	千円	1,047	千円	千円	千円				
			その他	42,595	千円	40,031	千円	千円	千円				
		事業費合計	67,276	千円	65,483	千円	千円	千円					
		人件費	正職員	16.75	人	119,076	千円	17.75	人	124,747	千円	人	千円
			臨時職員	18.75	人	38,475	千円	19.00	人	47,975	千円	人	千円
			人件費合計	35.50	人	157,551	千円	36.75	人	172,722	千円	人	千円
	総事業費		224,827	千円		238,205	千円		千円		千円		
	事業費	特定財源	国県支出金		千円		千円		千円		千円		
			使用料・手数料		千円		千円		千円		千円		
			分担金・負担金		千円		千円		千円		千円		
			地方債		千円		千円		千円		千円		
その他			352	千円	399	千円		千円		千円			
一般財源		224,475	千円	237,806	千円		千円		千円				
財源合計	224,827	千円	238,205	千円		千円		千円					

指標名	単位	年度	平成27年度	平成26年度	平成25年度	平成24年度				
成果	市民一人あたりの貸出冊数	目標値	8.5	達成率	8.4	達成率	8.3	達成率	8.2	達成率
		実績値	9.0	105.88	8.9	105.95	8.9	107.23	8.5	103.66
活動	図書資料費	目標値	24,000	達成率	24,000	達成率	24,000	達成率	24,000	達成率
		実績値	23,660	98.58	23,600	98.33	23,000	95.83	23,000	95.83
		目標値		達成率		達成率		達成率		達成率
		実績値								
		目標値		達成率		達成率		達成率		達成率
		実績値								
		目標値		達成率		達成率		達成率		達成率
		実績値								

すぐに行ける改善提案	図書館サービスの向上を図るためには、資料の充実が不可欠です。資料の予算を確保するためにも、管理運営内容を検討しながら、効率的な経費の運用に努めます。また、今後の図書館システムの更新に向けてより良いシステム構築に向けて協議していきます。
目標年度 未設定 年度	
取組状況	策21年～32年経過している丸岡・三国・春江図書館においては、必要な修繕を行い、利用者が快適に利用できるような施設の維持管理に努めました。また、システム更新に向けて、担当者会議を年4回開催し、検討しました。
中長期的に取り組むべき改善提案	限られた財源の中で、図書館への市民ニーズに応えていくためには、効率的な管理運営により経費を削減するとともに、事業の見直しを含めて検討いたします。特に、今後、築後長年経過している3つの図書館については、さらに改修が必要となることも考えられますので、快適な施設の維持管理を計画的に考えていきます。更に障がい者にやさしい施設・運営となるように、職員のできる人的なサービスから始め、施設の改善なども計画的に取り組んでいきます。
目標年度 未設定 年度	
取組状況	限られた予算の中で、無駄のない効率的な予算執行を行いました。利用者への接遇や職員としての資質アップも図り、研修にできる限り参加しました。また、資料の貸出アップに向けて、配架や選書の工夫、行事の見直しなど、各館様々な工夫もして、魅力ある図書館づくりを目指しました。

妥当性	【市民のニーズ】 社会情勢や環境の変化により、市民ニーズが薄れていませんか？	A. 薄れていない B. 少し薄れている C. 薄れている	A
	【市が実施する妥当性】 市が事業実施主体となることは妥当ですか？（国、県、民間の活動と重複していませんか？）	A. 妥当である B. あまり妥当でない C. 妥当でない	A
	【受益の公平性】 特定の個人や団体に受益が偏っていませんか？	A. 偏っていない B. 多少偏っている C. 偏っている	A
効率性	【事務の効率化】 事務手続きの見直しなど、事務の効率性をさらに向上させることができますか？	A. できない B. 検討の余地あり C. できる	B
	【民間活力の導入】 事業の成果を低下させず民間活力（民間委託、指定管理者、まちづくり協議会等）を導入することで、さらにコスト削減することができますか？	A. できない B. 検討の余地あり C. できる	B
	【歳入増加策】 受益者負担金や歳入増加策を見直す余地はありますか？	A. 余地はない B. 検討の余地あり C. 見直すべき	A
有効性	【事業の成果】 事業成果の目標達成状況は順調ですか？（事業の成果が十分に上がっていますか？）	A. 順調である B. あまり順調でない C. 順調でない	A
	【サービス内容の見直し】 成果を向上させるためサービス水準や対象を見直す余地はありますか？	A. 余地はない B. 検討の余地あり C. 見直すべき	B
	【他事業との統合】 類似・関連事業との統合により、成果をより向上させることはできますか？	A. できない B. 検討の余地あり C. できる	B

事業の方向性	このまま継続します。	目標年度	--	年度を目安
判断事由	図書の貸出、資料収集、図書情報の提供等は、市民のニーズに適合していますので、このまま継続します。			
実施主体の方向性	現状どおり実施します。	目標年度	--	年度を目安
判断事由	市民サービスへの必要性が高い施設のため、このまま市が実施主体となって実施します。			
コスト投入の方向性	現状を維持します。	目標年度	--	年度を目安
判断事由	図書館本来の魅力を高めるため、図書資料の充実を図ります。施設の維持については、坂井図書館以外の3館は、建築後21年～31年経過していることから、補修や修繕を行いながら、施設の延命化を図り、市民のニーズに応えていきます。			
人員投入の方向性	現状を維持します。	目標年度	--	年度を目安
判断事由	図書館サービスの維持向上を図るため、現在の人員を維持します。			
すぐに行ける改善提案	図書館サービスの向上のためには、資料の充実が不可欠です。資料の予算を確保するためにも、管理運営方法を見直しながら、効率的な経費の運用に努めます。			
目標年度 -- 年度				
中長期的に取り組むべき改善提案	限られた財源の中で、図書館への市民ニーズに応えていくためには、効率的な管理運営により経費を削減するとともに、事業の見直しを含めて検討します。また、障がい者に適した施設・運営となるように、施設やサービス面の改善に取り組んでいきます。			
目標年度 -- 年度				

【事業の成果】

事務事業名	記念文庫等管理運営事業 丸岡			事業コード	10051205101
所管部署	丸岡図書館	電話	67-1500	記入者名	斉藤由喜子
事業対象	坂井市民および市内通勤者、通学者、全国の研究者				
総合計画	基本構想	生涯を通じて学び・育つまちづくり		事業区分	自治事務（任意的なもの）
	基本計画	社会教育・生涯教育の充実		事業種別	ソフト事業
実施主体	市	実施手段	市が直接実施	委託内容	
根拠法令	無				
根拠例規	無	坂井市立丸岡図書館記念文庫管理規則施行網則			
関連計画・マニュアル	有	坂井市教育振興基本計画、坂井市子どもの読書活動推進計画			

【事業の概要】

中野重治氏、小葉田淳氏、今川節氏の蔵書、楽譜、遺品などの維持管理・収集を行うとともに、ふるさとの文化的先駆者としての顕彰を図る。

【事業内容】
○中野重治氏を偲ぶ「くちなし忌」の開催や講演会の開催
第36回くちなし忌及び記念講演会の開催、中野鈴子詩文書作品展及び写真パネル展、小葉田淳記念文庫歴史講演会などの行事を開催した。また、中野重治記念文庫の一般開放をし、HPの文庫のページに年表を追加した。
○各文庫の資料の収集・整理
中野重治文庫、今川節の部屋への貴重な寄贈資料の受け入れ、保存に努めた。
○中野重治生家跡の維持・管理
樹木の剪定、定期的な除草、清掃など維持管理に努めた。

予算	款	教育費	項	社会教育費	目	図書館費				
コスト	事業費	平成27年度		平成26年度		平成25年度		平成24年度		
		報酬	千円	千円	千円	千円	千円	千円	千円	
		委託費	331千円	299千円	千円	千円	千円	千円		
		需用費	402千円	66千円	千円	千円	千円	千円		
		役務費	3千円	3千円	千円	千円	千円	千円		
		その他	370千円	167千円	千円	千円	千円	千円		
	事業費合計	1,106千円	535千円	千円	千円	千円	千円			
	人件費	正職員	1.25人	8,886千円	1.25人	8,785千円	人	千円	人	千円
		臨時職員	0.25人	513千円	0.30人	758千円	人	千円	人	千円
		人件費合計	1.50人	9,399千円	1.55人	9,543千円	人	千円	人	千円
総事業費		10,505千円	10,078千円	千円	千円	千円	千円			
事業費	特定財源	国県支出金	千円	千円	千円	千円	千円			
		使用料・手数料	千円	千円	千円	千円				
		分担金・負担金	千円	千円	千円	千円				
		地方債	千円	千円	千円	千円				
		その他	千円	千円	千円	千円				
	一般財源	10,505千円	10,078千円	千円	千円					
財源合計		10,505千円	10,078千円	千円	千円	千円				

指標名	単位	年度	平成27年度	平成26年度	平成25年度	平成24年度		
成果	中野重治記念文庫見学者数	目標値	400	達成率 150	達成率 150	達成率 150		
		実績値	543	135.75	350	233.33	150	100
成果	小葉田淳記念文庫見学者数	目標値	400	達成率 50	達成率 50	達成率 50		
		実績値	289	72.25	350	700	60	120
活動	講演会参加人数	目標値	250	達成率 200	達成率 180	達成率 180		
		実績値	289	115.6	350	175	265	147.22
		目標値		達成率	達成率	達成率	達成率	
		実績値						
		目標値		達成率	達成率	達成率	達成率	
		実績値						
		目標値		達成率	達成率	達成率	達成率	
		実績値						

すぐにできる改善提案	くちなし忌や歴史講演会、講座などの事業の見直しを図りながら継続していきます。
目標年度 未設定 年度	
取組状況	第36回「くちなし忌」や、歴史講演会、自主講座の「中野重治文学の午後」などの行事の開催をしました。また、中野重治記念文庫を自由に見学できるように一般開放を実施したことにより、見学者数が増加しました。
中長期的に取り組むべき改善提案	記念文庫関係の研究者が保有する貴重な資料の寄贈資料の収集、また、寄贈資料の未整理資料の保管作業に努めます。
目標年度 未設定 年度	
取組状況	記念文庫関係の大変貴重な資料を数多く収集できました。また、中野重治研究室の書架を増やし保存に備えました。今後これまで未整理だった資料の保存も合わせて、数年継続で保存管理を計画し・実施していきます。

妥当性	【市民のニーズ】 社会情勢や環境の変化により、市民ニーズが薄れていませんか？	A. 薄れていない B. 少し薄れている C. 薄れている	B
	【市が実施する妥当性】 市が事業実施主体となることは妥当ですか？（国、県、民間の活動と重複していませんか？）	A. 妥当である B. あまり妥当でない C. 妥当でない	A
	【受益の公平性】 特定の個人や団体に受益が偏っていませんか？	A. 偏っていない B. 多少偏っている C. 偏っている	A
効率性	【事務の効率化】 事務手続きの見直しなど、事務の効率性をさらに向上させることができますか？	A. できない B. 検討の余地あり C. できる	B
	【民間活力の導入】 事業の成果を低下させず民間活力（民間委託、指定管理者、まちづくり協議会等）を導入することで、さらにコスト削減することができますか？	A. できない B. 検討の余地あり C. できる	A
	【歳入増加策】 受益者負担金や歳入増加策を見直す余地はありますか？	A. 余地はない B. 検討の余地あり C. 見直すべき	A
有効性	【事業の成果】 事業成果の目標達成状況は順調ですか？（事業の成果が十分に上がっていますか？）	A. 順調である B. あまり順調でない C. 順調でない	A
	【サービス内容の見直し】 成果を向上させるためサービス水準や対象を見直す余地はありますか？	A. 余地はない B. 検討の余地あり C. 見直すべき	B
	【他事業との統合】 類似・関連事業との統合により、成果をより向上させることはできますか？	A. できない B. 検討の余地あり C. できる	B

事業の方向性	このまま継続します。	目標年度	--	年度を目安
判断事由	ふるさと出身の偉大な作家・中野重治氏および歴史学者・小葉田淳氏の蔵書や書簡等を適正に保存し、偉業を後世に永く伝えていくため、当事業を継続していきます。また、文庫等で保管している貴重な資料や寄贈・寄託された蔵書等の整理に努めます。			
実施主体の方向性	現状どおり実施します。	目標年度	--	年度を目安
判断事由	坂井市保有の貴重な財産を保存管理していくため、現状どおり実施主体を坂井市（坂井市立図書館）とします。			
コスト投入の方向性	現状を維持します。	目標年度	--	年度を目安
判断事由	保存管理に必要な経費をこのまま維持します。特に、必要が生じた場合は、事業費を増額して対応します。			
人員投入の方向性	現状を維持します。	目標年度	--	年度を目安
判断事由	人員は基本的に現状を維持します。特に、必要が生じた場合は、臨時的に人員を確保し、対応していきます。			
すぐにできる改善提案	中野重治のくちなし忌や小葉田淳の歴史講演会、講座等の事業の見直しを図りながら継続していきます。			
目標年度 -- 年度				
中長期的に取り組むべき改善提案	文庫の研究者等からの寄贈の申し出が増加する傾向にあるので、保存する棚の増設等を図ります。			
目標年度 -- 年度				

【事業の成果】

指標名	単位	年度	平成27年度	平成26年度	平成25年度	平成24年度		
成果	中野重治記念文庫見学者数	目標値	400	達成率 150	達成率 150	達成率 150		
		実績値	543	135.75	350	233.33	150	100
成果	小葉田淳記念文庫見学者数	目標値	400	達成率 50	達成率 50	達成率 50		
		実績値	289	72.25	350	700	60	120
活動	講演会参加人数	目標値	250	達成率 200	達成率 180	達成率 180		
		実績値	289	115.6	350	175	265	147.22
		目標値		達成率	達成率	達成率	達成率	
		実績値						
		目標値		達成率	達成率	達成率	達成率	
		実績値						
		目標値		達成率	達成率	達成率	達成率	
		実績値						